

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほっぶ姫路		
○保護者評価実施期間	2024年12月16日		2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31 (33)	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2024年12月9日		2024年12月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	保護者と出会うときに家庭の様子や学校の様子などを気軽に話し合える雰囲気づくりをしている。	他機関連携
2	活動プログラムが固定化していない	利用曜日や日付をみて、活動内容が被らないように考慮している。被る場合も内容を少し変えて提供するようにしている。	他事業所の様子をネット上や聞き取りで情報を得る。横のつながりをもつ。保護者や児童の意見交換をする。
3	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	次月の活動内容をカラー表示で見やすく作成し、それに加えてその月付近のイベントや行事の意味合いを載せてみたり、日頃の教室の様子を写真にとり、インスタグラムを活用し配信している。保護者とのやり取りは基本的にラインを活用しスムーズかつリアルタイムでの情報共有がしやすい。	集団活動のようなメインイベントだけでなく、余暇時間や学習方法、事業所の環境や従業員の情報など細かい部分の発信もしていくとより身近に感じてもらえることや事業所に対しての「わからないところ」が減っていくことを期待する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会が少ない	利用している児童及び保護者の思考の違いもあり、状況を知られたくない、という方がおられたので踏みとどまることが多かった。	受け入れ先を一つでも多く確保し、短時間の交流でも行事として内容に入れていく。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	利用している児童及び保護者の思考の違いもあり、状況を知られたくない、という方がおられたので踏みとどまることが多かった。	少人数制で数日に分けて父母会や保護者同士の交流ができる機会を設けていきたい。参加は任意であり堅苦しくならない雰囲気づくりをして充実した情報連携の場をつくる。
3	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	ももとのスペースが広くない。机や椅子のサイズ感が大きい。	パーテーションの活用や粗大運動時のスペース確保などを意識し、物の配置や入れ替えなど教室内の棚や備品は必要最低限にする。活動内容を考え限られたスペースでいかに楽しみ充実できるか工夫する。